

(3) 原子力被災12市町村の営農再開に向けた支援等

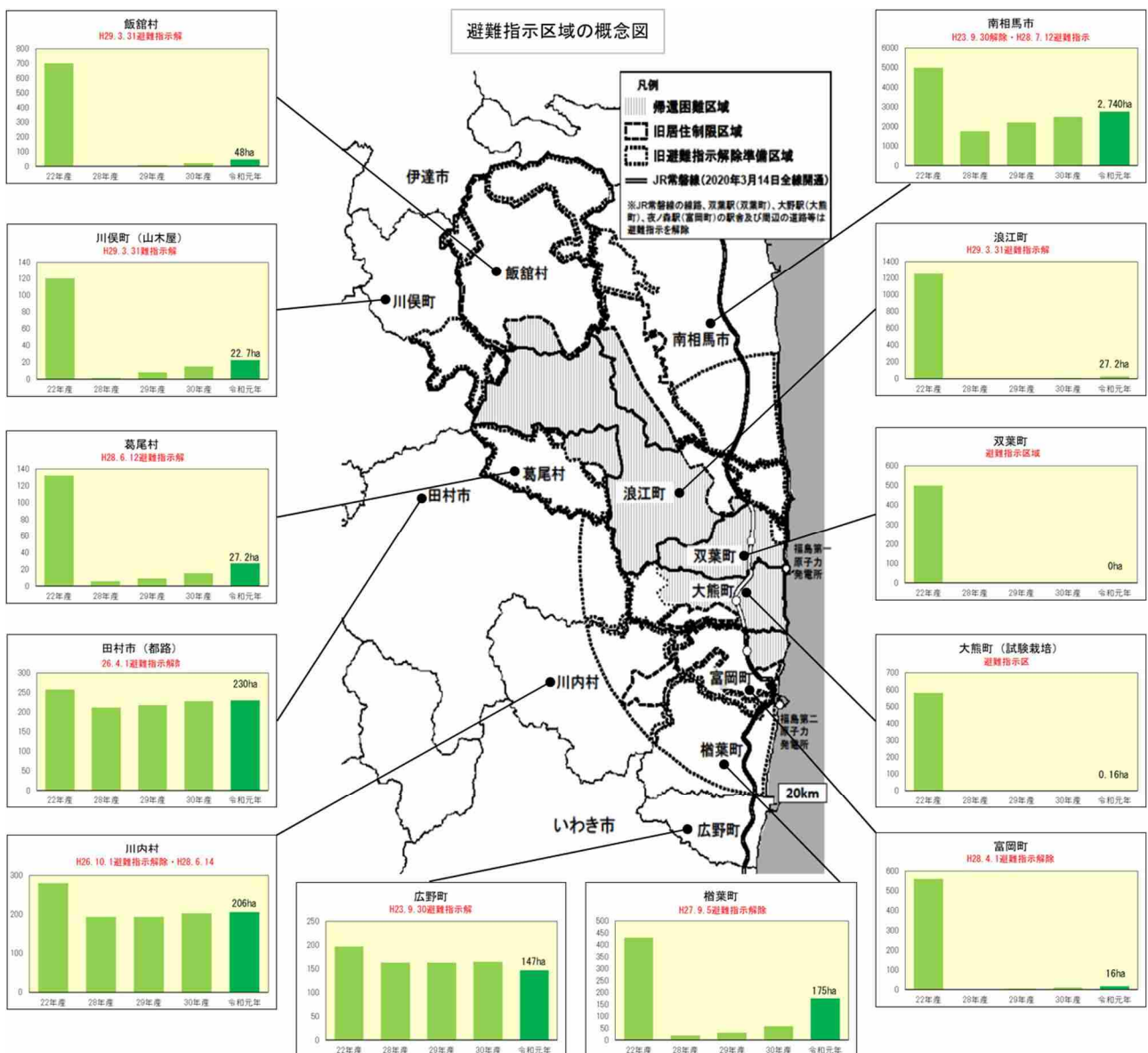
ア 水稲作付面積の年次別推移

(市町村等の意向を確認しながら、営農再開に向けて条件整備)

- 避難指示解除区域等の営農再開に向けて、農地、農業用施設の復旧等が行われています。

また、農業者の帰還の度合いに応じ、営農再開状況にばらつきはあるものの、市町村や農業者の意向を確認しながら、農地の大区画化や集積、施設・機械の整備等、営農再開に向けての支援が行われています(図表1-14)。

図表1-14 被災12市町村における水稲作付面積の年次別推移(営農再開状況)



資料：水稲作付面積については、市町村からの聞き取りを基に東北農政局作成(令和元(2019)年9月末現在)  
 注：大熊町の一部の避難指示解除準備区域及び居住制限区域は平成31年4月10日に解除

イ 原子力被災12市町村の営農再開状況

みなみそうまし ならはまち  
**(南相馬市、檜葉町などで、米の作付けが拡大)**

○ このような中で、令和元(2019)年度においては、南相馬市、檜葉町を中心に約3,600ha(※1)まで米の作付けが拡大されました。その他の地域でも、米や花き、野菜等が栽培され、営農再開が進められています(図表1-15)。

※1：南相馬市では市内全域で水稲の作付け制限を実施したことから、水稲の作付面積(3,600ha)には南相馬市全体の水稲作付再開面積を含む(図表1-15※2)。

**図表 1-15 避難指示区域見直し後の営農再開状況**

| 市町村名                        | 水稲(令和元(2019)年度の作付面積)  | その他の品目(令和元(2019)年度の作付面積、飼養状況)  |
|-----------------------------|---|--|
| みなみそうまし<br>南相馬市<br>(小高区)    | 南相馬市全体：約2,740ha(※2)<br>水稲：102.2ha<br>(主食用50.4ha、飼料用42.2ha、<br>備蓄7.7ha、酒造用1.9ha) | ・大豆 38.4ha ・大麦 7ha<br>・野菜：たまねぎ 2ha、プロッコリー 15.3ha、うど 1ha等<br>・花き：ストック、小菊、トルコギキョウ、りんどう等 27a<br>・なたね 22ha ・綿花 9a<br>・飼料作物：牧草、デントコーン 59.1ha(※実証栽培含む)<br>・畜産：和牛繁殖(1戸)、養豚(1事業者)  |
| たむらし<br>田村市<br>みやこ<br>都路    | 水稲：230ha<br>(主食用125ha、飼料用45ha、備蓄18ha、<br>WCS42ha)                               | ・野菜：トマト 90a、ピーマン 30a、いんげん 20a、なす 20a、ふきのとう 30a等<br>・果樹：ギンナン 3ha ・花き：りんどう 30a(1グループ)、小菊 10a<br>・えごま 30a<br>・畜産：和牛繁殖(39戸・2事業者)、肉用牛肥育(1事業者)、養豚(1事業者)<br>養鶏(1事業者)  |
| ひろのまち<br>広野町                | 水稲：147ha<br>(主食用104ha、飼料用36ha、備蓄7ha)  | ・大豆 2.4ha ・小麦 6.2ha ・そば 4.7ha<br>・野菜：たまねぎ 60a ・果樹：バナナ 8a<br>・飼料作物：牧草 2.3ha ・畜産：和牛繁殖(1戸)、肉用牛肥育(1事業者)  |
| かわうちむら<br>川内村               | 水稲：約206ha<br>(主食用119ha、飼料用86ha、備蓄1ha)   | ・そば 51ha ・小麦 1ha ・野菜：リーフレタス等 1ha、たらめ 7ha<br>・果樹：ワイン用ぶどう 3ha、ハウスぶどう 30a、ブルーベリー 50a、くり 1.2ha<br>・花き：りんどう、トルコギキョウ、小菊等 70a<br>・えごま 10ha ・飼料作物：牧草 54ha<br>・畜産：酪農(1戸)、和牛繁殖(8戸)、養豚(1事業者)  |
| ならはまち<br>檜葉町                | 水稲：約175ha<br>(主食用104.9ha、飼料用43.2ha、<br>備蓄23.1ha、WCS2.9ha、輸出用1ha)                | ・野菜：さつまいも 31ha、たまねぎ 3.9ha<br>・花き：トルコギキョウ、ストック等 50a<br>・果樹：ゆず 40a ・飼料作物：牧草 19.4ha<br>・畜産：和牛繁殖(3戸)、酪農(1戸)  |
| かわらむら<br>葛尾村                | 水稲：27.2ha<br>(主食用20.6ha、飼料用米6.6ha)  | ・そば 4.7ha ・大豆 1.5ha ・えごま 70a<br>・花き：コショウラン(1事業者)、トルコギキョウ(3戸)、小菊 30a<br>・飼料作物：デントコーン 15ha(1事業者)<br>・畜産：和牛繁殖(11戸・2事業者)、肉用牛肥育(1事業者)、<br>酪農(1事業者)、養鶏(1事業者)、めん羊(1事業者)   |
| とみだのまち<br>富岡町               | 水稲：約16ha<br>(主食用15.2ha、飼料用0.8ha)  | ・そば 50a ・野菜：たまねぎ 3.6ha、たらめ 10a<br>・果樹：ワイン用ぶどう 60a、オリーブ 10a等<br>・花き：トルコギキョウ・ストック 4a<br>・飼料作物：子実用とうもろこし 90a、ソルガム 1ha   |
| かわらむら<br>川俣町<br>やまきや<br>山木屋 | 水稲：22.7ha<br>(主食用22.2ha、飼料用0.5ha)   | ・そば 7.8ha<br>・花き：トルコギキョウ 1.9ha(栽培グループ等)、小菊 2ha、アンズリウム 90a<br>・飼料作物：牧草 47.2ha、デントコーン 42.4ha(1事業者)<br>・畜産：和牛繁殖(1戸)、養豚(1事業者)、養鶏(1事業者)、<br>乳用牛育成(1戸)   |
| いいたむら<br>飯館村                | 水稲：約48ha<br>(WCS稲を含む)   | ・そば 12.9ha ・野菜：各種野菜 60a、イチゴ施設栽培 40a(夏秋)<br>・果樹：ギンナン 60a、ブルーベリー 2a ・花き：カスミソウ等 2.4ha<br>・飼料作物：牧草 2.4ha ・葉たばこ 60a<br>・畜産：和牛繁殖(7戸 ※飼養実証1戸含む)、乳用牛育成(1事業者)、<br>養豚(1事業者)  |
| なみえのまち<br>浪江町               | 水稲：27.2ha<br>(主食用25.6ha、飼料用1.6ha)   | ・大豆 9a ・小豆 6a ・いんげん豆 20a<br>・野菜：たまねぎ 5.1ha、長ねぎ 30a、<br>カボチャ 30a、きゅうり 20a、はくさい 10a、パパイア 3a、<br>たらめ 40a等<br>・果樹：ユズミカン 60a、ぶどう 10a、ブルーベリー 3a<br>・花き：トルコギキョウ 2.3ha、ストック 2.1ha、花木 1.9ha、小菊 10a、<br>アスター 7a<br>・えごま 4.7ha ・オリーブ 1.4ha<br>・飼料作物：牧草 1.4ha ・景観：ひまわり 2.2ha |
| おおくまのまち<br>大熊町              | 【実証栽培】<br>水稲：16a  | ・地力増進：ヘアリーベッチ等 1.5ha ・景観：ひまわり 2ha  |
| ふたばのまち<br>双葉町               |   | 【試験栽培】 ・結球野菜・非結球野菜(キャベツ、ほうれん草等) 6a   |

資料：市町村からの聞き取りを基に東北農政局作成(令和元(2019)年9月末現在)

注：表は、避難指示区域の見直し時期が早い市町村順に表記(帰還困難区域を除く。)

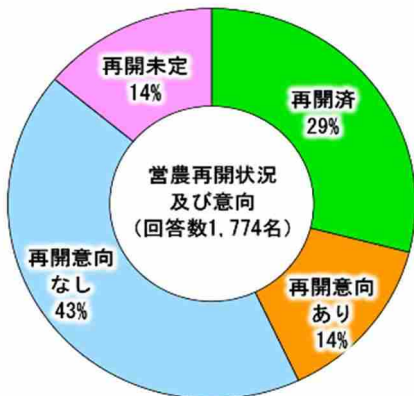
ウ 関係機関が連携した営農再開推進チームの取組状況

(被災農業者への個別訪問を実施)

- 平成 29(2017)年 4 月より、福島相双復興官民合同チーム営農再開グループは被災農業者への個別訪問に取り組んでいます。
- 原子力被災 12 市町村の農業者を同グループが訪問し農業者の状況及び意向等を確認したところ、「再開済」「再開意向あり」と回答した農業者は 43%となっています(図表 1-16)。
- また、営農再開済農業者が最も多く挙げた課題は、農業機械・施設・家畜・新規作物等の導入等となっています(図表 1-17)。

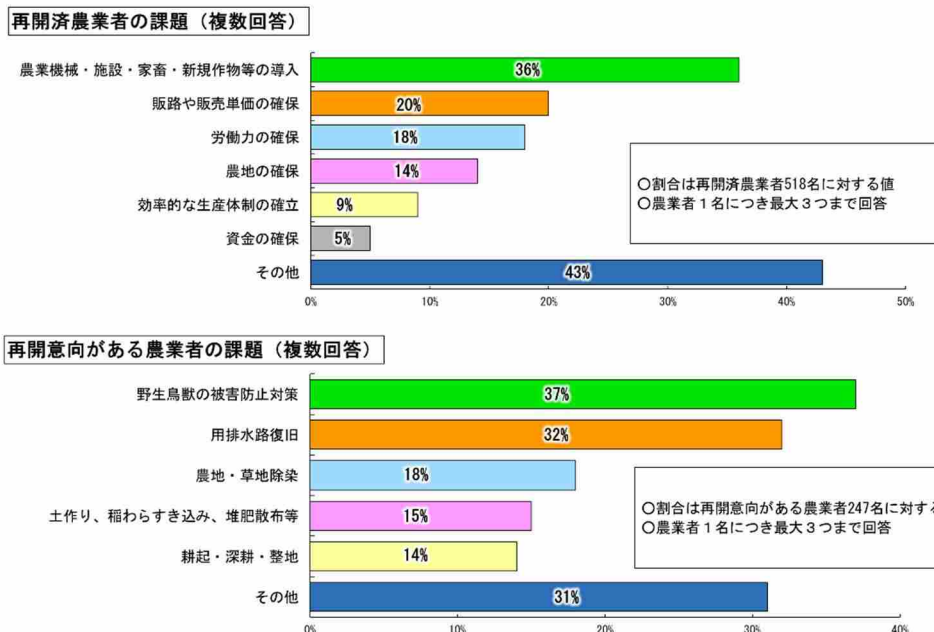
※「福島相双復興官民合同チーム営農再開グループ」とは  
 東北農政局、福島県及び公益社団法人福島相双復興推進機構の 3 機関が連携して農業者訪問活動や支援を実施するもの

図表 1-16 営農再開状況及び意向(平成 29(2017)年 4 月～令和元(2019)年 12 月まで)



資料: 福島相双復興官民合同チーム営農再開グループ「原子力被災 12 市町村における農業者個別訪問活動結果概要」を基に東北農政局作成

図表 1-17 「再開済」「再開意向あり」と回答した農業者の課題(平成 29(2017)年 4 月～令和元(2019)年 12 月まで)



資料: 福島相双復興官民合同チーム営農再開グループ「原子力被災 12 市町村における農業者個別訪問活動結果概要」を基に東北農政局作成



(4) 被災地産食品の利用・販売促進に向けた動き

(被災地復興を目的としたイベントや福島県産品の斡旋・販売を実施)

東北農政局では「食べて応援しよう！」の取組の一環として、岩手県、宮城県及び福島県の農林漁業者及び食品事業者等が農林水産物や加工食品などを販売する場の提供や被災地復興に理解を深めるイベント「食べて応援しよう！ in 仙台」を平成28(2016)年度から開催しています。第4回の令和元(2019)年度は新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、延期となりました(図表1-18)。

また、福島県産の農林水産物等の風評払拭を目的として、東北農政局等職員に斡旋・販売する「食べて応援しよう！」を実施しています。令和元(2019)年度は相双地域で生産された米を原料に製造された日本酒を斡旋・販売しました(図表1-19)。

※「食べて応援しよう！」とは

被災地域やその周辺地域で生産・製造されている農林水産物・加工食品(被災地産食品)を積極的に消費することで被災地の復興を応援する運動のこと

図表 1-18 食べて応援しよう！ in 仙台 (第3回)



会場の様子



「食の応援大使」みちのく仙台ORI☆姫隊によるステージパフォーマンス

図表 1-19 東北農政局等職員への斡旋・販売産品(平成27(2015)年度から令和元(2019)年度)

- ・りんごジュース及びごぼうチップス
- ・福島県産カタログギフト商品
- ・農業女子プロジェクトメンバーが生産した福島産桃
- ・相双地域で生産された米を原料として製造された日本酒



資料：東北農政局作成

(5) 原発事故による諸外国の食品等の輸入規制の動向

(香港、中国、台湾及び韓国等で続く輸入停止措置)

- 原発事故に伴い諸外国・地域において講じられた輸入規制は、政府一体となった働きかけの結果、令和元(2019)年度は3の国・地域で完全撤廃、7の国・地域で一部品目の規制緩和がされました。これに伴い、米国向け宮城県及び岩手県産牛肉の輸入停止が解除され、コンゴ民主共和国、ブルネイ及びフィリピン向け輸出の際の証明書等が不要になりました(図表1-20)。
- 原発事故に伴い規制を受けた54の国・地域のうち、令和2(2020)年3月までに34の国で輸入規制が撤廃されましたが、まだ20の国・地域(香港、中国、台湾、韓国等)で規制が継続されています(図表1-21)。
- 輸入停止措置を講じている国・地域は、日本の農林水産物・食品の輸出額の上位を占めています(図表1-22)。

図表 1-20 令和元(2019)年度に輸入規制撤廃又は緩和された品目

| 撤廃又は緩和の年月 | 輸出先国・地域  | 東北地域の規制撤廃又は緩和の主な内容  |
|-----------|----------|---|
| 2019年4月   | 米国       | 岩手県産牛の肉、福島県産ウミタナゴ、クロダイ、ヌマガレイ、宮城県産牛の肉、クロダイの輸入停止を解除   |
| 5月        | フィリピン    | 福島県産ヤマメ、アユ、ウグイ、イカナゴの輸入停止を放射性物質検査報告書の添付を条件に解除  |
| 6月        | コンゴ民主共和国 | 輸入規制撤廃(放射性物質検査証明書の添付が不要)  |
| 7月        | UAE      | 検査報告書の対象品目である福島県産の全ての食品、飼料を水産物、野生鳥獣肉のみに縮小   |
| 9月        | 米国       | 福島県産ムラソイ、カサゴの輸入停止を解除  |
| 10月       | マカオ      | 宮城県産の野菜、果物、乳製品の輸入停止を商工会議所のサイン証明で輸入可能に、食肉、卵、水産物等について放射性物質検査報告書の添付を商工会議所のサイン証明に変更、山形県産の野菜、果物、乳製品等について放射性物質検査報告書の添付が不要 |
| "         | ブルネイ     | 輸入規制撤廃(福島県産の放射性物質検査証明書、福島県産以外の産地証明書の添付が不要)  |
| 11月       | EU※      | 福島県産の大豆、宮城県及び岩手県産の水産物を検査証明対象から除外等の検査証明書及び産地証明書の対象地域及び対象品目を縮小  |
| "         | 米国       | 宮城県産アユ(養殖を除く)の輸入停止を解除   |
| 2020年1月   | シンガポール   | 福島県の林産物、水産物、福島県7市町村の全食品の輸入停止を産地証明及び放射性物質検査報告書の添付を条件に解除  |
| "         | 米国       | 岩手県産クロダイ、福島県産ビノスガイの輸入停止を解除  |
| "         | フィリピン    | 輸入規制撤廃(福島県産の放射性物質検査報告書、福島県産以外の産地証明書の添付が不要)  |
| 1~2月      | インドネシア   | 水産物、養殖用薬品、エサについて検査証明対象から除外、宮城県及び山形県産を除く加工食品について検査報告書の対象から除外   |

資料：農林水産省食料産業局「農林水産物・食品の輸出促進について」  
(令和2(2020)年3月末現在)

注：スイス、ノルウェー、アイスランド、リヒテンシュタイン(EFTA加盟国)もEUに準拠した規制緩和を実施。

図表 1-21 原発事故による諸外国・地域の食品等の輸入規制の緩和・撤廃

| 規制措置の内容（国・地域数）  |                              | 国・地域名   |
|-----------------|------------------------------|---|
| 事故後の輸入規制を撤廃（34） |                              | カナダ、ミャンマー、セルビア、チリ、メキシコ、ペルー、ギニア、ニュージーランド、コロンビア、マレーシア、エクアドル、ベトナム、イラク、豪州、タイ、ボリビア、インド、クウェート、ネパール、イラン、モリシャス、カタール、ウクライナ、パキスタン、サウジアラビア、アルゼンチン、トルコ、ニューカレドニア、ブラジル、オマーン、バーレーン、コンゴ民主共和国、ブルネイ、フィリピン |
| 事故後の輸入規制を継続（20） | 一部都県等を対象に輸入停止（6）             | 香港、中国、台湾、韓国、マカオ、米国  |
|                 | 一部又は全ての都道府県を対象に検査証明書等を要求（13） | E U及び英国、E F T A（アイスランド、ノルウェー、スイス、リヒテンシュタイン）、仏領ポリネシア、ロシア、シンガポール、インドネシア、レバノン、アラブ首長国連邦、エジプト、モロッコ   |
|                 | 自国での検査強化（1）                  | イスラエル   |

資料：農林水産省食料産業局「農林水産物・食品の輸出促進について」（令和2(2020)年3月末現在）

図表 1-22 原発事故に伴い輸入停止措置等を講じている国・地域

| 輸出先国・地域 | 輸出額(2019年)<br>※括弧内は全輸出額に占める割合 | 停止措置対象県                             | 輸入停止品目             |
|---------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------------|
| 香港      | 2,037億円(22.3%)                | 福島県                                 | 野菜、果実、牛乳、乳飲料、粉乳    |
| 中国      | 1,537億円(16.9%)                | 宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、長野県 | 全ての食品、飼料           |
|         |                               | 新潟県                                 | コメを除く食品、飼料         |
| 米国      | 1,238億円(13.6%)                | 日本国内で出荷制限措置がとられた県                   | 日本国内で出荷制限措置がとられた品目 |
| 台湾      | 904億円(9.9%)                   | 福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県                 | 全ての食品(酒類を除く)       |
| 韓国      | 501億円(5.5%)                   | 日本国内で出荷制限措置がとられた県                   | 日本国内で出荷制限措置がとられた品目 |
|         |                               | 青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県     | 水産物                |

資料：農林水産省食料産業局「農林水産物・食品の輸出促進について」（令和2(2020)年3月末現在、輸出実績は2019年確定値）

注：中国は「10都県以外」の「野菜、果実、乳、茶葉等」（これらの加工品も含む）について、放射性物質検査証明書の添付を求めているが、放射性物質の検査項目が合意されていないため、実質上輸入が認められていない。

### 3. 新型コロナウイルスへの対応

#### (1) 東北地方における情勢

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い社会経済や国民生活等に甚大な影響)

- 令和元(2019)年12月に中国で確認された新型コロナウイルスは、世界各地に拡大し、令和2(2020)年1月15日に日本国内での初感染者、2月29日には宮城県において東北初となる感染者が確認されました。
- 東北地方においても、政府の決定に従い小中学校等の臨時休校やイベント等の自粛、外国人労働者の入国制限等により、農林水産物の需要減少や生産現場における労働力不足等、農業・食品産業に様々な影響が発生しました。
- このため、東北農政局は、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策や、農林水産省が策定した農業者や食品産業事業者等の事業継続に関するガイドラインの周知等を行い、生産基盤の維持・継続と需要の喚起に取り組みました(図表1-23)。

**図表 1-23** 新型コロナウイルスに関する動き

令和元(2019)年

|     |   |
|-----|---|
| 12月 | 中華人民共和国湖北省武漢市において、原因となる病原体が特定されていない肺炎の発生が複数報告 |
|-----|---|

令和2(2020)年

|    |     |   |
|----|-----|---|
| 1月 | 15日 | 国内において新型コロナウイルス感染者を初めて確認  |
| 2月 | 5日  | 横浜港に停泊していた豪華客船「ダイヤモンド・プリンセス号」の乗客乗員に感染が判明                                      |
|    | 13日 | 政府対策本部「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」取りまとめ  |
|    | 18日 | 「新型コロナウイルスに関する東北農政局対策本部」を設置   |
|    | 25日 | 政府対策本部「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」決定   |
|    | 27日 | 政府対策本部「全国の小中高校、特別支援学校の2日から春休みまでの臨時休校」を要請                                      |
|    | 29日 | 宮城県仙台市において新型コロナウイルス感染者を初めて確認(「ダイヤモンド・プリンセス号」乗客)                               |
| 3月 | 6日  | 秋田県において新型コロナウイルス感染者を初めて確認(「ダイヤモンド・プリンセス号」乗客)<br>東北農政局に新型コロナウイルス感染症に関する相談窓口を設置 |
|    | 7日  | 福島県において新型コロナウイルス感染者を初めて確認(「ダイヤモンド・プリンセス号」乗客)                                  |
|    | 10日 | 政府対策本部「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策―第2弾―」取りまとめ                                       |
|    | 13日 | 農林水産省所管業種における「新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン」取りまとめ・公表              |
|    | 19日 | 東北農政局「和牛・牛乳・花いっぱいプロジェクト」を実施   |
|    | 23日 | 青森県において新型コロナウイルス感染者を初めて確認   |
|    | 24日 | 東京五輪・パラリンピック1年程度延期を決定   |
|    | 31日 | 山形県において新型コロナウイルス感染者を初めて確認   |

資料：東北農政局作成



## (2) 東北地方の農業及び食品産業への影響

### (農業及び食品産業に様々な影響が発生)

- 学校給食用牛乳の製造中止  
小中学校等の臨時休校に伴い、急きょ、学校給食用に出荷が予定されていた生乳を乳製品に仕向け変更する調整が生産者団体で行われました。このことは、酪農家が受け取る乳代を下げる要因となりました。
- 花き、牛肉、地鶏等の需要減少と価格低迷
  - ・卒入学式や冠婚葬祭の中止に伴い、洋花（ストック、バラ等）を中心に需要が減少したことから価格低下や取扱量が減少しました。
  - ・外出自粛に伴い、首都圏での飲食店での需要が減少したことから枝肉価格及び和子牛価格が大幅に低下しました。また、地鶏も同様に外食需要の減少により在庫量が大幅に増加しました。
- 農泊のキャンセル  
農泊地域における宿泊等のキャンセルが発生しました。また、受け入れる農家側も感染への不安が根強く受入れを見合わせるケースも発生しました。
- 観光農園の入園中止  
予約がキャンセルとなったり客の受入れを自粛せざるを得ないなど、休園を余儀なくされた観光果樹園が多数発生しました。
- 外国人技能実習生の受入れ停滞による労働力不足  
入国制限等により各国からの外国人技能実習生の受入れの見通しが立たなくなったり、日本に戻れない事案が発生し深刻な人手不足となりました。

## (3) 東北農政局の取組

### (消費拡大に向けた取組を実施)

- 政府による「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策」  
政府は2度にわたり、緊急対応策を決定しました。これを受け農林水産省は、農林漁業者への公庫等による資金繰り支援を行いました。特に、第2弾対策においては、学校給食休止への対応として、農業者及び食品事業者へのきめ細かい各種支援を行うことを決定しました。
- 食料のサプライチェーン全般にわたる事業継続のためのガイドラインの周知  
国民への食料の供給を継続的に行うため、令和2(2020)年3月13日に策定された「新型コロナウイルス感染者が発生した際の事業継続に関するガイドライン」の周知を行いました。
- 相談窓口の設置  
農業者や食品産業事業者等からの相談に対応するため、令和2(2020)年3月6日、東北農政局企画調整室に「新型コロナウイルス感染症に係る相談窓口」を設置しました。
- 食品の流通・販売状況の把握  
販売小売店舗に対し、買いだめ、買い急ぎ、売惜しみの状況を把握するため、東北農政局の監視職員による巡回を実施しました。
- 「いっぱいプロジェクト」の実施  
学校給食の休止やイベントの自粛等の影響で需要が減少した地元産の「和牛」「牛乳」「花」について、消費拡大に向けた取組として「いっぱいプロジェクト」を立ち上げ、令和2(2020)年3月23日～4月3日の間、消費者コーナーにおいて東北各県の銘柄牛や花きの紹介、牛乳・乳製品を使ったレシピ等を特別展示しました。また、仙台合同庁舎玄関フロア等に東北の花を展示したり、東北農政局職員による肉、牛乳・乳製品、花を購入する取組を実施しました(図表1-24)。



表 1-24 いっぱいプロジェクト及び消費者コーナーの特別展示



お腹いっぱい  
(各県銘柄牛)

東北農政局 お腹  
**和牛いっぱいプロジェクト**

東北には多くの和牛の銘柄があり、地域の有力な農業となっています

その和牛が、いま大ピンチです  
新型コロナウイルス感染症の影響で、お得意様である飲食店やホテルなどの需要が大きく減少しています  
インパウンドの減少やイベント自粛も大きく影響しています  
行き場を失った和牛肉が在庫となって積み上がっています  
価格も農家の再生産が可能な水準を下回っています

消費者の皆さんにお願いです  
ご自宅で、東北の和牛肉を楽しんでいただくと助かります  
東北の和牛産地の応援をお願いします

和牛の枝肉価格 (去勢・A4 規格)



資料：東北畜産研究所 10品目調査人、日本食肉流通協会「食肉の状況」を参照



も〜ういっぱい  
(大きな牛乳パック)

東北農政局 も〜う  
**牛乳いっぱいプロジェクト**

農林水産省 日本の牛乳を飲む「プラスワンプロジェクト」

いま酪農家が困っています

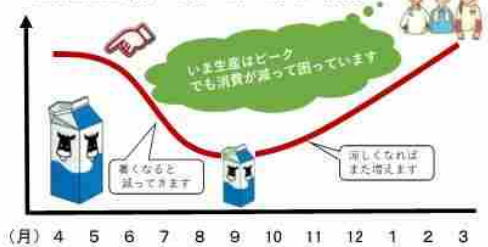
春はいっぱい乳が搾れる季節なのに、新型コロナウイルス感染予防の関係で学校やカフェなどのお休みが続き、消費が大きく減少しています

牛の乳搾りは、牛が病気になるのを防ぐためにも急に止めることはできません

消費者の皆さんにお願いです。  
普段より、もう1パック多く牛乳やヨーグルトを買っていただくと、助かります  
搾った乳が行き場を失ったりしないよう、応援をお願いします



生乳生産量(搾った乳の量)と季節の関係



(月) 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3



お部屋いっぱい  
(葛尾村の胡蝶蘭)

東北農政局  
**花いっぱいプロジェクト**

東北は、全国有数のお花の産地です  
その消費量も、全国でトップクラスであり産地の生産を変えています

そのお花の産地が、新型コロナウイルス感染症によりイベントが延期や中止になった影響で、お花の需要が大きく減少し、大打撃を受けています  
また、生産現場では行き場を失い出荷することができずに廃棄になるお花がたくさんあり、生産者さんにも丹精込めて育てたお花が誰の目にも触れられないまま捨てられる状況に心を痛めています

消費者の皆さんにお願いです

花には、心を癒す、季節感を醸す、部屋が華やか、心が豊かになるなど様々な魅力・効力があります  
職場の机の上や食卓の上、部屋のどこでも、飾るための飾りも何でもいいんです  
花を飾ってみませんか?  
身近な人に、日頃伝えられない気持ちを花と一緒に伝えるのも素敵なおことです  
花を贈ってみませんか?



切り花類の価格推移



資料：自給自足型(日本農産物販売)「各産地産品7都府(県)」  
※前年、前年同月同産地産品(3月)との比較  
※この図は価格の推移を示すもので、実際の生産量は必ずしもこの通りではありません  
注：グラフの3月の山はお彼岸時期、4月の山は母の日需要のあった時期です

東北地域  
ふるさと納税  
返礼品カタログ

ふるさとと納税返礼品の紹介  
(東北の牛肉・花)

おうちで楽しみながら応援しよう!

東北のふるさと納税  
牛肉・花を返礼品とする  
市町村の紹介

牛肉や花などで  
応援に参ります



令和2年5月  
農林水産省  
東北農政局